

スクラム

～ 立志・挑戦・感動～

浮羽中学校学校通信

第7号 (5月10日発行)
文責 校長 高倉 満

体育祭スローガン

「流星光底」 ～一人一人が輝け～

◇体育祭リーダー紹介

	班長	副班長	3年学年リーダー	2年学年リーダー	1年学年リーダー
赤班	秦 愛望	綾部 頼幸	立山 歩夢 河北 湊次	高倉 悠生 田代 羅奈	宮崎 るうと 馬田 愛叶
青班	飯田 傑	佐藤 七星	上川 琢夢 安武 寧生	坂本 晃紘 臼井 悠彩	山手 壮真 龍頭 希歩
緑班	中津留 颯人	秦 裕菜	権藤 友規 樋口 心結	岩下 悠翔 佐藤 愛紗美	秦 潤一 立石 桜弓
黄班	溝田 優	三善 瑠夏	伊藤 広翔 江口 いづみ	梶原 理毅 林田 留奈	大山 卓丸 上村 友美恵

いよいよ体育祭の練習が本格的に始まります。行事を通して、自分の殻を破り、今の自分から一回り成長してほしいと思います。さて、困難にぶつかるとそれをすぐ人のせいにし、些細なことでも耐える力の弱い人がいます。自分の意にさぐわないことに出会ったら、すぐに反抗的になり、わがままを出す人がいます。中学生という時期は、自分本位の生活から抜け出し、自分の中に他人を気遣うやさしい心が育たなければなりません。「他人のために役立つ自分」への成長を目指すことが大切なことだと思うのです。そこで、今年も「三つの幸せ」という内容を紹介します。

三つの幸せ

幸せには三つあるといわれます。
一つめの幸せは、してもらう幸せです。皆さんが赤ちゃんの時、お腹が空いていたときは泣き、オムツが濡れたとっては泣きました。するとお母さんが飛んできて、おっぱいを飲ませてくれたり、オムツを替えてくれましたね。そのとき皆さんは幸せでした。これが「してもらう幸せ」です。
二つめは、自分でできるようになった幸せです。字が書けるようになった。一人で自転車に乗れるようになった。サッカーがうまくなった。これが「できる幸せ」です。何でも自分でできるようになると、偉くなった気がして嬉しいものです。でも、次の幸せがあります。それが、「人にしてあげる幸せ」です。
人がしてほしいことをしてあげれば喜ばれますね。そんな人は頼りにされます。自分の身体と時間を使って何かをして差し上げる、相手の喜ぶことをして相手の喜びをわが喜びとする。この幸せを大事にしてほしいのです。「してあげる幸せ」は三つの幸せの中でも最高の幸せです。さあ、皆さんも「してもらう幸せ」から「できる幸せ」へと進み、そして「してあげる幸せ」を味わえる人になってください。

さて、学校生活の中で、この「人にしてあげる幸せ」にはどんなことがあるでしょうか。悩んでいる友達、元気のない友達に優しい言葉をかける。勉強で困っている友達に寄り添い共に学び合う。体育祭の取組で、ダンスや競技がうまくできない友達と一緒に練習をする。競技の練習で声をかけ合い元気をあげる等。他人を気遣う優しい心を育ててください。そんな優しい空気が浮中全体に広がって体育祭が成功することを期待しています。

部活動も頑張っています！

◇連休には練習試合をはじめ多くの大会や夏季大会シード決めがありました。どの部活動も毎日よく頑張っていました。保護者の皆様には休みにもかわらぬ生徒の送迎や応援にそして試合でのお世話等、本当に協力をしていただき感謝します。3年生にとっては最後の中体連夏季大会まで2ヶ月を切りました。どの部活動も精一杯練習をして頑張ります。今後ともご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

○野球部 全軟筑後地区大会 準優勝 県大会出場を決めました。
○ソフト部 小郡カップ 優勝 昭和学園杯 2位
○男子バスケット ブロックシード決め大会 3位 (ジード権獲得)